

# ぜつたい 先生になりたい人 のための大学



令和3年度学生募集要項は、11月上旬から下記の方法で入手できます。

- 「テレメール」を利用して学生募集要項の資料が請求できます。

<https://telemail.jp>

資料請求番号: 582700 (180円後納)



お問い合わせ先／テレメールカスタマーセンター tel.050-8601-0102(9:30~18:00)

- 「モバっちょ」を利用して学生募集要項の資料が請求できます。

<https://djc-mb.jp/juen2/>



お問い合わせ先／モバっちょカスタマーセンター tel.050-3540-5005(平日10:00~18:00)

学生募集要項は、本学ホームページに掲載していますので、  
ダウンロードすることも可能です。

その他直接請求などについては、上越教育大学入試課まで tel.025-521-3294





## ぜったい 先生になりたい人へ

上越教育大学は、使命感と人間愛に支えられた優れた教育者の養成と、現職教員が教育専門職としての高度な能力を修得することを大きな柱として、新構想の国立大学として1978年に創設されました。初等教育の教員養成を目的とした学校教育学部で教員としての力量を身につけた卒業生は約6,600名に達し、全国の教育現場で活躍しています。また、大学院において教育専門職としての教科内容にかかる高い専門性や、学級経営力等の高い教育実践力を獲得した修了生は約8,300名に及び、教育現場における指導的立場で教育に携わっています。このように上越教育大学は、教員養成系の広域拠点大学として着実な歩みを進めています。

上越教育大学では、初等教育教員として必要な力量を身につけられるようなカリキュラムを重視しています。特に、教育実習などの教育実践科目の充実を図り、各教科の内容や指導法、学級経営や生徒指導の方法はもちろんのこと、音楽・図工・体育の実技指導、ICT、アクティブラーニングなどを活用した教育方法など、教員として必要な力を身につけることができます。さらに、道徳教育の特別教科化や小学校における教科「英語」の導入、プログラミング教育のための学習活動の充実など、新たに学校教育現場で対応すべき事柄に対してもしっかりと学ぶことができます。また、大学院では多くの小学校や中学校の現職教員が学んでいますので、教職を志す学部学生と大学院に在籍する現職教員がゼミなどで共に学ぶことができる環境にあることも大きな特色です。

上越教育大学は、学生の皆さんの正課以外の課外活動についても期待しています。課外活動から得られる経験や能力は教員として重要であり、自信に繋がります。文化系や体育系の活動団体のほかに、学生が企画立案して地域の子どもたちとともに学び合う活動「学びのひろば」では、毎年、子どもたちが多数参加するため、学生の皆さんにとっても大きな刺激となっています。また、ボランティア活動も盛んで、大学としても積極的に支援しています。

学部卒業後、大学院で教員としての一層高度な能力を身につけたいと考えている人には、大学院（修士課程、専門職学位課程（教職大学院））を設置しています。さらに、博士課程として6大学で大学院連合学校教育学研究科を設置しています。

上越市は、自然が豊かで歴史や文化に恵まれ、教育に対する深い理解と愛情にあふれる地域です。四季折々の風情、海の幸、山の幸に恵まれた、教員としての資質能力を高めるためには絶好の地といえます。教員を志す皆さん、ぜひ上越教育大学で学び、日本の教育をリードする優れた教員として全国に羽ばたいてください。

上越教育大学長  
川崎直哉

## 上越教育大学創設の趣旨・目的

上越教育大学は、1978年（昭和53年）10月1日に設置された国立の新構想教育大学です。本学は、我が国の教育大学及び学部が築き上げてきた教員養成の成果に立脚して、さらに教育者としての使命感、人間愛、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、優れた教育技術など専門職としての高度な資質能力の養成といった今も変わることのない社会的要請に応えるために、創設されました。

そのため、本学は開学当初から、教育の最も基本となる初等教育教員の養成を行う学校教育学部と学校教育の場における教育研究の推進者を養成する大学院学校教育研究科（修士課程）を設けています。

学校教育学部のカリキュラムは、上記の新構想の理念に基づき、特に教育実習の拡充を図り、実践的・体験的な授業内容を重視するなど、本学独自の内容と方法を誇っています。教育実習を始め、種々のボランティア活動・体験活動プログラムなどで、強く地域と連携しており、教育実習では、地元の上越市及びその周辺地域の小学校、中学校など、全部で120を超える学校園の協力を得ています。このように地域に支えられた大学であることが、本学の大きな魅力となっています。

本学卒業生の教員就職率は、国立の教員養成大学・学部においてトップクラスを占めています。また、開学以来、多くの卒業生が全国の学校現場で活躍しており、都道府県教育委員会などより、その実践的な能力が高く評価されています。

1996年（平成8年）4月には、本学、兵庫教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学を構成大学とする「兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（修士課程）」が、教員養成系としては初めて設置され、2019年（平成31年）4月に岐阜大学、滋賀大学が加わり6大学の構成となりました。また、2008年（平成20年）4月には、教職大学院制度の創設に合わせ、大学院学校教育研究科に専門職学位課程（教職大学院）を新たに設置しました。

現在の上越教育大学は、学部、大学院（修士課程・専門職学位課程）と連合大学院（博士課程）を擁する「教育の総合大学」としての体制を整え、今日に至っています。

上越教育大学は、21世紀において、我が国の教員養成と教育実践研究の拠点となることを目指しています。

## 教育研究組織

（令和2年4月1日現在）

### 上越教育大学

#### 学校教育学部

##### 初等教育教員養成課程

#### 大学院学校教育研究科

##### 修士課程

##### 専門職学位課程（教職大学院）

#### 兵庫教育大学大学院連合

##### 学校教育学研究科（博士課程）

#### 附属図書館

#### センター等

##### 学校教育実践研究センター

##### 保健管理センター

##### 情報メディア教育支援センター

##### 心理教育相談センター

##### 特別支援教育実践研究センター

##### 国際交流推進センター

##### 総合学生支援室

##### 学校実習・ボランティア支援室

##### プレイスメントプラザ

##### 障害学生支援室

##### 教科内容先端研究センター

##### 健康教育研究センター

#### 附属学校

##### 附属幼稚園

##### 附属小学校

##### 附属中学校

// ぜったい先生になりたい人をサポートする! //

# 上越教育大学12の特色

1

## 適性と課題を見つけ 2年次にコース選択

1年次に自分の適性と課題を見つけた上で、2年次から専門性を深めるため、希望のコースへ所属。

p.7

2

## 全国から学生が集まる大学

教員への夢を実現するため、北は北海道から南は沖縄県まで全国各地から学生が集まる大学。

p.14

4

## 小一種免許から 幼・中・高一種免許 まで取得可能

卒業要件としての小学校教諭一種免許状のほか、様々な教員を目指して幼・中・高教諭一種免許状も取得可能。

p.15

5

## 保育士などの資格取得

保育士、学校図書館司書教諭の資格が取得可能。

p.15

7

## 充実した教育実習を 1年次から開始

教育実習を1年次から実施し、学校現場の理解を深め、さらに専門科目を習得した上で本格的な実習を行い、即戦力となる教員を養成。

p.17

8

## 地域や学校での ボランティア活動

地域の教育機関や学校現場でのボランティア活動を通して、教員として求められる社会性や対人関係能力を向上。

p.18

10

## 現職教員との交流が活発

小・中学校などの現職教員が毎年50人程度大学院に入学。授業などでの交流を通じ、直接、現場の様子が学べる環境。

p.22

11

## 教員就職率 80.5%!! 充実した就職サポート

キャリアコーディネーターによる教員採用試験対策、計画的な教員採用試験対策講座プログラムなど入学時から教員への夢を実現するために強力サポート。

p.23

3

## 人間理解をめざした 豊富なカリキュラム

教育の基本である人間そのものの理解から始まり、実践的指導力など教員に必要な資質・専門性を高めていくための充実したカリキュラム。

p.15

6

## 少人数教育のシステム

1年次は1クラス10人程度のグループ、2年次以降はコース・領域の特定分野に分かれての少人数による履修。

p.16

9

## 「海外教育研究」 による海外研修

外国訪問により、その国の教育事情や文化に触れるとともに、現地の学校で授業参観・実践を行う授業科目「海外教育研究」を開設。

p.19

12

## 大学会館や学生宿舎による 生活サポート

大学会館内の施設は学生証を使いキャッシュレスで利用可能。学生宿舎は大学のキャンパスに隣接し多くの学生が入居。

p.31

## CONTENTS

- 1 学長からのメッセージ
- 2 創設の趣旨・目的／教育研究組織
- 3 上越教育大学の特色
- 5 ぜったい「先生」になりたい!  
先輩たちの声
- 学校教育学部
- 7 入試の概要／令和2年度入学者選抜状況／入学～在学～卒業までの流れ
- 9 コース・領域の紹介
- 14 出身都道府県別在学者数
- 15 カリキュラム(特色のある教育課程)／卒業要件と取得できる免許状・資格
- 16 副専攻プログラム／6年一貫教育プログラム／少人数教育のシステムとクラス制度
- 17 教育実習の重視
- 18 ボランティア活動の授業化／学校実習・ボランティア支援室
- 19 「海外教育研究」の実施／海外交流協定校
- 20 在学中の保険と相談窓口
- 21 納付金と奨学金
- 22 大学院との関連／大学院学校教育研究科
- 就職・進路
- 23 プレイスメントプラザ／キャリアコーディネーター／就職支援プログラム
- 24 教員採用試験対策講座プログラム／就職状況
- 25 学びのひろば
- Campus Life
- 27 キャンパスカレンダー／上教大生の一日
- 28 課外活動
- 29 Campus Map／附属施設
- 36 キャンパス周辺
- 37 本学へのアクセス
- 38 オープンキャンパス

# 先輩たちの声

## ぜつたい「先生」になりたい！



上越教育大学に入学して一年過ごした先輩たちにインタビュー。なぜ上教大を選んだのか、授業の様子、課外活動や大学生活のこと、いろいろ話してもらいました！

みやもと とうこ  
宮本 塔子さん  
学校教育実践コース 2年  
長野県 上田染谷丘高校



いそ てんせい  
磯 天成さん  
教科内容構成コース(保健体育) 2年  
茨城県 水戸桜ノ牧高校



ながお さくらこ  
永尾 桜子さん  
幼年教育コース 2年  
徳島県 城北高校



わたなべ こうじ  
渡邊嵩士さん  
教科内容構成コース(理科) 2年  
新潟県 長岡大手高校



もりた まほ  
森田 真帆さん  
現代教育課題コース 2年  
石川県 羽咋高校

### 上教大を選んだ理由は？

別の大学を志望していたのですが、上教大に入学した高校の先輩に「一度来てみたら」と誘ってもらい、オープンキャンパスに参加しました。施設内も落ち着いていて、大学全体で「教員を養成しよう」という雰囲気がとても魅力的だなと思いました。オープンキャンパスでは先輩に質問をしたのですが、皆さん教員を目指しているだけあってお話し分かりやすく、そういう所にも憧れましたし、同じ目標に向かうことでとても刺激になると聞いて、上教大を目指すことにしました。

### 入学してみてどうですか？

とても楽しいです。思いやりのある人が多くすぐに友だちになりますし、ストリートダンスサークルに入っているので、先輩方ともいろんな話をしています。部活のことだけでなく、教員採用試験で点数を受けるためにはどの授業を選択するとよいかなど、先輩たちから具体的なアドバイスを受けることができました。

### これまで、一番印象に残ったことは？

観察実習です。「教育現場に行くと、子どもたちは私たちを『学生』でなく『先生』として見ているので、そういう気持ちで参加するように」という事前の説明を聞きました。私は「ぜつたい小学校の先生になる」と決めていたのですが、実際に中学や幼稚園に行くとそれの良さがあり、将来の選択肢が広がったように思います。

### 上教大を選んだ理由は？

高校の進路指導で「先生になりたい」と相談した際に上教大を教えてもらいました。単科大学で学生の人数も少なく、現職の先生方も勉強していると聞いて、それはすごいなと思いました。実際に入学してみると、大学院に現職の先生方がたくさんいらっしゃって、一緒に講義を受けることもあります。

### 講義の様子は？

例えば家庭科の授業では上越の特産を取り上げた昔のニュース映像を見たり、体験学習の授業ではトマト栽培をして、「何センチ伸びた」とか「花が咲いた」などの観察をしたり。将来、子どもたちにやり方を説明する際に、自分ができないといけないですし、実際にやってみることで学べるような面白い授業が多いと思います。

それから少人数ということもあり、先生方は学生一人ひとりの意見をしっかり聞いてくださいます。学生同士でもそれぞれの意見や考え方を伝えやすいので、毎日いろんな発見があって楽しいです。

### 将来どんな先生になりたいですか？

中学生の頃からスポーツ関係の仕事に就きたいと思っていましたが、教えることも好きなので、今は体育の先生を目指しています。運動が得意な子だけでなく、苦手意識のある子でも自分から楽しんで活動に取り組んでもらえるような授業展開のできる先生になりたいと思っています。

### 入学してみてどうですか？

友だちだけでなく先輩との繋がりも多く、部活の先輩、学びのひろばの先輩、バイトが一緒の先輩もいて、悩むことがあってもすぐに相談にのってもらえるので助かります。授業では、こうした方がうまくいくよとか、より良い方向に進めるためにどうしたらいいかも教えてもらっています。私自身も頼りになる先輩になれたらしいなと思います。授業以外ではバイト、部活、家事などやらなければいけないことがたくさんあるので、時間のやりくりをしています。

### 講義の様子は？

先生から教わってノートをとる授業ももちろんありますが、子どもたちに教える立場になるために、いろんな人と話して自分の考えを深めていくとか、他の人の意見を聞くことができる授業が多く、とても勉強になります。同じ道を志しているからこそ共感できる部分があったり、その中でも考え方や考え方を工夫されている先生が多く、受け付けてとても嬉しいです。

### 将来どんな先生になりたいですか？

私は、小さい子が好きなので保育士になりたいと思っています。小学生になる前の、人間形成の基礎が作られる期間が大切と知って、携わりたいと思いました。

私を受け持ってくれた小学校の担任の先生のように、一人ひとり違う個性に向き合って、それを活かせるような、毎日が楽しいと思えるような環境づくりができる先生になりたいと思います。

### 入学してみてどうですか？

入学前に大学祭を見に来た時にも感じましたが、和気あいあいとしていて、男女関係なく学生同士みんな仲が良いですね。人数が少ない分、団結力があると思いました。入学してからすぐに新しい友だちができたり、クラスの仲が深まる機会もあって良い雰囲気だと思います。友だちは他愛もない話もしますが、普段から、「どこの県の試験を受けたい」とか進路の話もしています。1年次から、自分の進路を具体的に意識している人も多いです。

### 講義の様子は？

興味をひかれる内容が多く、とても楽しいです。特に、理科はずっと勉強してきたので自分ではいろいろ知っているつもりだったんですが、入学して理科の講義を受けて初めて知ったことがたくさんありました。奥が深いと思います。それから話し方など、学生をうまく引き込むような授業を工夫されている先生が多く、受け付けてとても嬉しいです。

### 将来どんな先生になりたいですか？

高校のとき、授業がうまく、おもしろく、生徒の気持ちにいち早く気づき、相談に乗ってくださる先生に出会いました。その姿に憧れて、教員を目指すと決めました。生徒も楽しみ、なにより自分自身が一緒に楽しめるような授業ができる先生になりたいです。そして生徒の信頼を得て、生徒の悩みを解決できるように生徒と共に考えられるような先生になりたいです。

### 上教大を選んだ理由は？

上教大には高校の先輩が何人かいて、大学の様子をいろいろ教えてもらえたこと、教育実習に行ける機会が多いということ魅力でした。1年次で観察実習、2年次で模擬授業、3年次で教育実習、4年次では中学校での教育実習というような、段階を踏んだカリキュラムが良いなと思いました。

### 講義の様子は？

大学の授業は、講義を聴いてひたすらポートをまとめるようなイメージでしたが、1年次には生活の授業や図画工作の授業などもあり、私たちが実際に生徒側としてやってみたり、教え方なども習ったりして、活動型の授業が多く楽しくてためになりました。

ユニークな授業では、ビニールテープを噴水広場じゅうに貼ったり、窓に新聞紙を破って貼ってみんなで一つの作品を作るような、表現の授業などもあります。みんなで同じことをやっているようでも、人によって材料の使い方が違ったり、新しい発見がありました。

### 将来どんな先生になりたいですか？

音楽の先生を目指し副免で音楽をとっています。私の高校の同級生が私の父（中学校の音楽教師）の教え子で、父は教えること、学ばせることが上手で慕われていたと聞きました。私もただ勉強を教えるだけではなく、音楽があまり好きじゃない子どもたちにも楽しんでもらえるような授業をしたり、学校行事なども子どもたちと一緒に全力で楽しめるような先生になりたいです。

# 学校教育学部

## 入試の概要

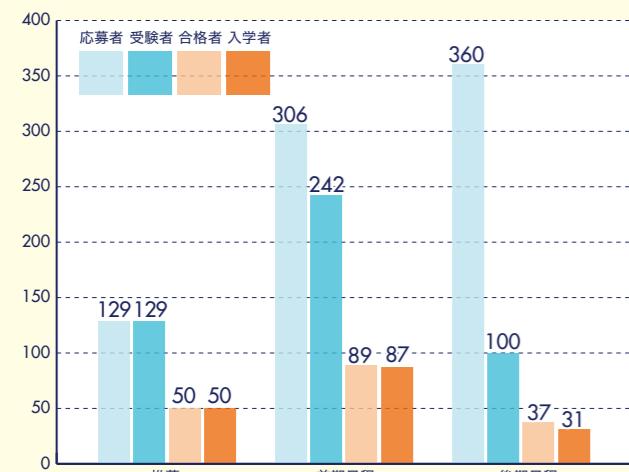
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、次の入試を行います。（詳細は募集要項等で発表します。）

**学校推薦型選抜**  
募集人員／50人

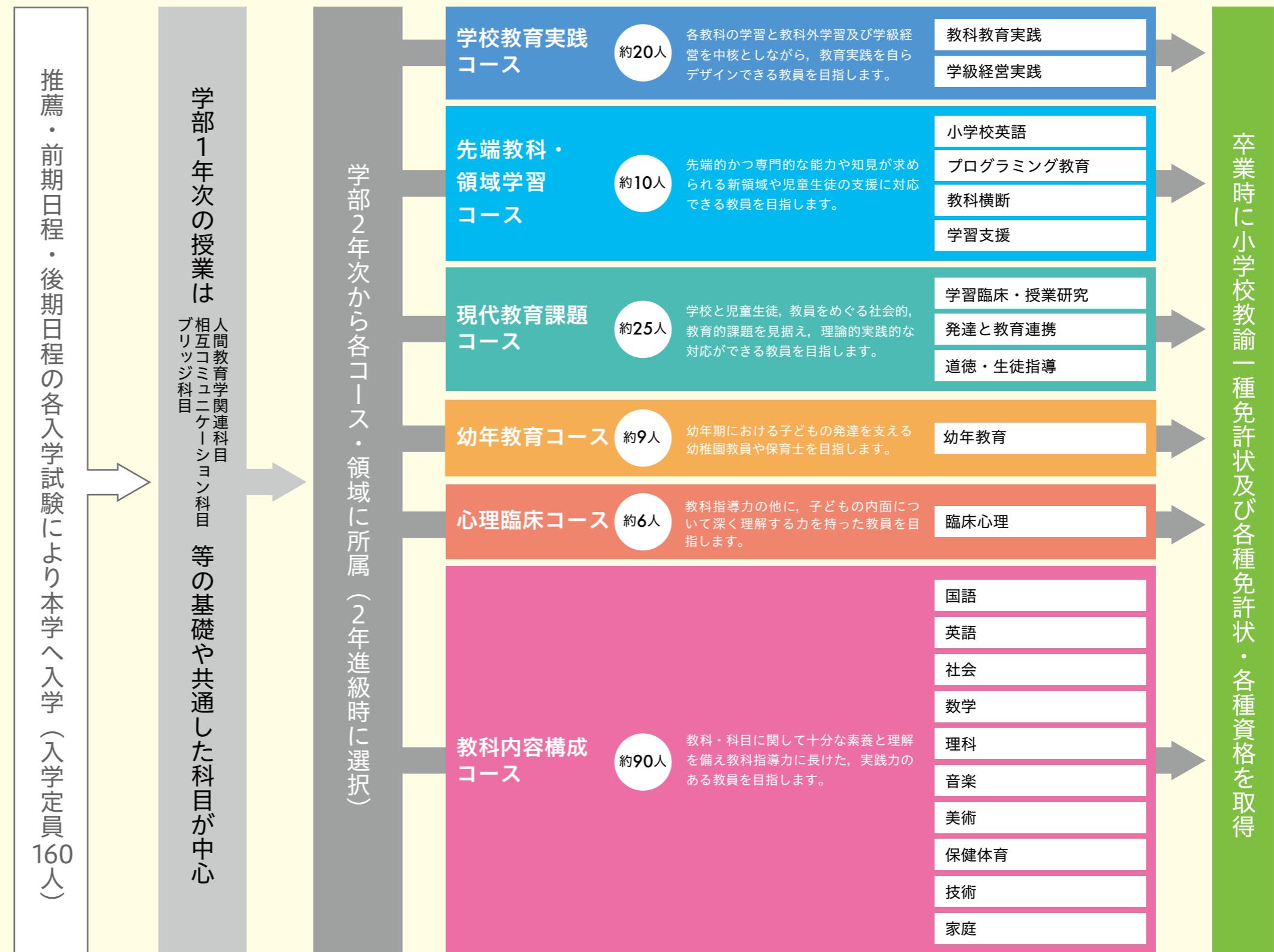
**一般選抜**  
〈前期日程〉  
募集人員／77人

〈後期日程〉  
募集人員／33人

## 令和2年度入学者選抜状況



## 入学～在学～卒業までの流れ



## コース・領域の紹介

教職に  
求められる力を  
バランスよく学ぶ

学校教育実践コース

### 教科教育実践 学級経営実践

指導力の高い教師は、自分のよさや強みを伸ばしつつ、教職に求められる力をバランスよく持っています。本コースでは、自分の理想とする教師像を学びを通して描き、そのために必要な専門性を身に付けることを目指します。

教師には、さまざまな能力が求められます。教科の内容や教材などについて深い知識を持ち、質の高い授業ができるることは勿論ですが、子どもたちにとってよりよい学びの環境をつくる学級経営をする力も必要です。また、教室で起こるべきごとを正確にとらえ、すぐさま適切に対応する力、子どもの気持ちや行動の意味を理解し、寄り添う力、子どもの置かれた社会の状況についてきちんと理解していることなど、多面的で総合的な力を備えている必要があります。

その一方で、教師という仕事は一人でやるものではなく、同僚の教師たちと一緒に授業や行事を運営したり、保護者や地域の人々と協力して子どもの健全育成に取り組んだりなど、さまざまな人々と協同して行う仕事です。豊かなコミュニケーション力や、多様な人々と協力する力も求められます。

これらの力を身につけるには、大学で多くの知識や技能を学ぶだけではなく、学校現場に実際に関わることが大切です。そのため、学校教育実践コースでは、学校現場に実際に足を運び、そこで起きていることに学びながら、教職に求められる多面的で総合的な力を身につけていきます。

また、教職大学院の教科教育・学級経営実践コースと連携し、学部の学生とは立場の異なる大学院生と共に学ぶ機会を設けています。それによって、さまざまな人々と協力する力も高めていくことができます。

学校教育実践コースは、このような特色あるカリキュラムを通して、よりよい教育を実現する力、つまり、実践力を身に付けることができます。指導力の高い教師を目指して共に学びませんか。

4つの領域で  
高める  
新しい教育課題  
への対応力

先端教科・領域学習コース

### 小学校英語 プログラミング教育 教科横断 学習支援

先端教科・領域学習コースは、『小学校英語』、『プログラミング教育』、『教科横断』、『学習支援』の4つの領域で構成されています。『小学校英語』では、小学校を中心に、中学校・高等学校において実践的な英語の指導を行うことのできる教員の養成を目指します。『プログラミング教育』では、各教科の授業力と児童生徒と関わる力を高めながら、プログラミング教育を通して、幅広い学校課題に対応することができる教員の養成を目指します。『教科横断』では、異なる教科間での連携・横断や小・中・高などの校種間の接続を考えながら、指導法の研究や教材の開発を行うことができる教員の養成を目指します。『学習支援』では、特別支援教育の目的や意義について理解し、個々の児童生徒の実態を踏まえた各教科等の指導や教職員等と連携した指導ができ、互いの特徴を認め合い支え合う学級づくりができる教員の養成を目指します。4つの領域を相互に関連させながら、総合的かつ網羅的に学ぶことができます。



子どもの  
世界が広がる  
学習の  
あり方を学ぶ

現代教育課題コース

### 学習臨床・授業研究

『学習臨床・授業研究』では、子どもの学習場面に臨みながら、学習の過程を適切に把握することを通して、子どもが自己を確立し表現できるような教育活動を展開できる授業を研究し、自らカリキュラムを創造し改善できる教員の養成を目指します。

学校の多くの時間は、“学習”へとあてられます。学習のあり方を追求することは、子どもたちの新たな世界の広がりと成長の可能性を見いだすことにつながります。

領域での科目や卒業研究では、実際に子どもと関わりをもって、一人ひとりの子どもの学習の実現のあり方を学びます。アクティブラーニングやICTを活用した子どもの学びの質を高める学習デザインや総合学習、SDGs、国際理解、自然環境などに関する専門知と実践知を修得し、カリキュラム・マネジメントのできる資質・能力を養成します。そして、全ての学習活動の基礎となる、主体的・対話的で深い学びに向かう、子どもの人間性を育む教育実践を開拓できる教員への成長を支援します。

子どもの発達と  
未来を見据えて  
教育システムを  
デザインする

現代教育課題コース

### 発達と教育連携

現代の教育が抱える複雑な課題の解決のためには、人間の成長・発達や教育という営みに関する根本的な知識・理解が必要です。加えて、科学的で実践的な課題探究の方法と態度の修得も重要です。これらについて『発達と教育連携』では、教育学や心理学の立場から、以下の3つの観点に立ち、連携・協働して問題解決にあたる力や教育実践力を身につけることを目指します。

(1) 認知的・社会的発達や学習プロセス、それを支える多様な人間関係など、子どもたちの心を多角的に探究し、発達と学習を適切に援助していくための理論と方法を学びます。

(2) 学級内における教師や子どもの人間関係、学校の雰囲気や風土、学校と家庭や地域との関係、社会環境と子どもの歴史的な変容などについて、科学的な研究手法を通して学びます。

(3) 教育を支える組織的な活動や仕組み、教育に関わる法規や制度について学びながら、協働して取り組める教職員の養成を目指します。

教育問題を  
多角的に  
みつめる

現代教育課題コース

### 道徳・生徒指導



『道徳・生徒指導』では、教科内容以外のあらゆる教育問題について多角的に考察を深め、教育実践に活かす予防的・開発的な手立てを具体的に探求します。

学校教育の今日的課題として①いじめ問題の予防と対応、②規範意識の向上、③育てる生徒指導、④個別対応と望ましい集団形成、⑤キャリア発達・キャリア形成などがあります。それについて、(1)道徳教育、(2)生徒指導、(3)学校教育相談、(4)特別活動、(5)キャリア教育の各視点から捉えていきます。

子どもの  
育ちと学びの  
原点を探る

幼年教育コース

### 幼年教育

『幼年教育』では、幼年期の子どもの発達と、それを支える幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育、家庭教育や子育て支援等について学びます。

心身ともに著しく発達し、生活の場が急速に拡大するのが幼年期です。この時期の子どものさまざまな発達の様相やそれにふさわしい環境のあり方、就学前施設のカリキュラムや適切な援助の方法について学ぶとともに、この時期に生じている諸問題を見定め、どのように解決していくべきかを共に探求し、実践に移していきます。

本コースは幼年教育学、幼年心理学、保育内容、児童福祉の研究領域で構成されています。理論と実践の両面から幼年期の子どもやこの時期の教育・保育の実際を総合的、共同的に学び合うことを通じて、これから初等教育の出発点に立つ教師・保育者として、保護者や地域、諸学校と連携しながら実践の質を高め、子どもの望ましい発達を支えていく教育・保育の優れた担い手を養成することが本コースの目的です。

『こころ』の問題を理解し、解決への支援や援助を学ぶ

## 心理臨床コース 臨床心理



現在の学校現場では、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、虐待、発達障害など、子どもたちのこころに関するさまざまな状態に対応することが求められています。「心理臨床」コースでは、教科を教える力だけではなく、子どもたちのさまざまな生きづらさを理解し、解決できるように援助する心理療法の理論と技法について専門的に学ぶことができます。また、このような学校現場での教育相談や生徒指導に生かすことができる専門性を習得した教員になるだけでなく、公認心理師の国家資格に必要な学部での必須科目も受講できるようになっています。

英語「を」学び、  
英語「で」教える  
スキルを養う

## 教科内容構成コース 英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

日本語と、ことばそのもののへの理解を深める

## 教科内容構成コース 国語

私たちは日本語をもついて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きして、また深いものであるよう導く力を養います。

（国語学）では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。（国文学）では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。（書写書道）では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。（国語科教育）では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授業実践力を育成します。



さまざまな『数学』を発展させ、教育に生かす方法を学ぶ

## 教科内容構成コース 数学

『数学』は、数学や数学的な考え方に対する興味をもち、それを発展させて、教育に生かしてみたいと思う人のためにあります。小学校の算数教育の中心的な存在になれるような教員の養成、中学校及び高等学校の数学科を担当できる教員を養成することを目的としています。『数学』には、代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、コンピュータ、数学教育学の6つの領域があります。代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学の領域では、それぞれに対応する現代数学の初步的内容とその基本的な考え方を講義します。コンピュータの領域では、初步的なプログラミングの実習を行い、コンピュータの仕組みやその限界について体験的に学ぶ機会を提供します。数学教育学の領域では、教材分析や授業分析などを通じて、その背景にある算数・数学教育の理論や指導法について講義します。これまで数多くの卒業生が、全国各地の中高等学校の教員として活躍しています。

自然科学の広い視野と深い知識を身につける

## 教科内容構成コース 理科



私たちは、自然科学について広い視野と深い知識を身につけ、将来学校で、子どもたちが意欲を持って楽しく学べる授業ができる先生、子どもたちを大切にはぐくむ先生を育てるこをを目指しています。大学2年で『理科』に所属すると、色々な授業や実験・観察が始まります。3年生になると、研究室に配属されます。「理科教育」「物理」「化学」「生物」「地学」の5つの種類があります。3年生と4年生の2年間にわたってその研究室で卒業研究をします。この過程を通して、小中高等学校の理科の先生が身につける科学的リテラシーを学んでいきます。皆さんをお待ちしています。

『こころ』の問題を理解し、解決への支援や援助を学ぶ

## 心理臨床コース 臨床心理



現在の学校現場では、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、虐待、発達障害など、子どもたちのこころに関するさまざまな状態に対応することが求められています。「心理臨床」コースでは、教科を教える力だけではなく、子どもたちのさまざまな生きづらさを理解し、解決できるように援助する心理療法の理論と技法について専門的に学ぶことができます。また、このような学校現場での教育相談や生徒指導に生かすことができる専門性を習得した教員になるだけでなく、公認心理師の国家資格に必要な学部での必須科目も受講できるようになっています。

日本語と、ことばそのもののへの理解を深める

## 教科内容構成コース 国語

私たちは日本語をもついて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きして、また深いものであるよう導く力を養います。

（国語学）では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。（国文学）では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。（書写書道）では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。（国語科教育）では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授業実践力を育成します。



英語「を」学び、  
英語「で」教える  
スキルを養う

## 教科内容構成コース 英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

社会科授業に必要な、様々な研究・教育を学ぶ

## 教科内容構成コース 社会

社会科（地理歴史科・公民科）授業に必要な、人文科学・社会科学・自然科学及び社会科教育（地理教育・歴史教育・公民教育）の諸領域について、それぞれの専門性を維持しつつ学際性にも十分留意した研究・教育を行います。とりわけ（1）社会認識の地理的多様性を認識しつつその歴史的変遷の軌跡をたどり、（2）社会構造の解明にとりくみ、（3）これら研究成果と教育実践の有機的な関連づけを目指します。2年次から地理学、歴史学、法律学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、宗教学、社会科教育の授業を履修、3年次以降は各専門セミナーに所属、きめの細かい指導をうけ卒業論文を作成します。野外実習である地域調査法（地理学、歴史学）の開講、学内外での学校現場の社会科の先生らと連携した研究・教育活動が活発なことも特徴です。学生たちは小学校免許に加え中学校の社会、高等学校の地理歴史科・公民科の免許も取得し、卒業後、社会科という幅広い教科教育実践得意とする学校教師として活躍しています。

『こころ』の問題を理解し、解決への支援や援助を学ぶ

## 心理臨床コース 臨床心理



現在の学校現場では、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、虐待、発達障害など、子どもたちのこころに関するさまざまな状態に対応することが求められています。「心理臨床」コースでは、教科を教える力だけではなく、子どもたちのさまざまな生きづらさを理解し、解決できるように援助する心理療法の理論と技法について専門的に学ぶことができます。また、このような学校現場での教育相談や生徒指導に生かすことができる専門性を習得した教員になるだけでなく、公認心理師の国家資格に必要な学部での必須科目も受講できるようになっています。

日本語と、ことばそのもののへの理解を深める

## 教科内容構成コース 国語

私たちは日本語をもついて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きして、また深いものであるよう導く力を養います。

（国語学）では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。（国文学）では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。（書写書道）では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。（国語科教育）では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授業実践力を育成します。



英語「を」学び、  
英語「で」教える  
スキルを養う

## 教科内容構成コース 英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

社会科授業に必要な、様々な研究・教育を学ぶ

## 教科内容構成コース 社会

社会科（地理歴史科・公民科）授業に必要な、人文科学・社会科学・自然科学及び社会科教育（地理教育・歴史教育・公民教育）の諸領域について、それぞれの専門性を維持しつつ学際性にも十分留意した研究・教育を行います。とりわけ（1）社会認識の地理的多様性を認識しつつその歴史的変遷の軌跡をたどり、（2）社会構造の解明にとりくみ、（3）これら研究成果と教育実践の有機的な関連づけを目指します。2年次から地理学、歴史学、法律学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、宗教学、社会科教育の授業を履修、3年次以降は各専門セミナーに所属、きめの細かい指導をうけ卒業論文を作成します。野外実習である地域調査法（地理学、歴史学）の開講、学内外での学校現場の社会科の先生らと連携した研究・教育活動が活発なことも特徴です。学生たちは小学校免許に加え中学校の社会、高等学校の地理歴史科・公民科の免許も取得し、卒業後、社会科という幅広い教科教育実践得意とする学校教師として活躍しています。

『こころ』の問題を理解し、解決への支援や援助を学ぶ

## 心理臨床コース 臨床心理



現在の学校現場では、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、虐待、発達障害など、子どもたちのこころに関するさまざまな状態に対応することが求められています。「心理臨床」コースでは、教科を教える力だけではなく、子どもたちのさまざまな生きづらさを理解し、解決できるように援助する心理療法の理論と技法について専門的に学ぶことができます。また、このような学校現場での教育相談や生徒指導に生かすことができる専門性を習得した教員になるだけでなく、公認心理師の国家資格に必要な学部での必須科目も受講できるようになっています。

日本語と、ことばそのもののへの理解を深める

## 教科内容構成コース 国語

私たちは日本語をもついて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きして、また深いものであるよう導く力を養います。

（国語学）では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。（国文学）では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。（書写書道）では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。（国語科教育）では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授業実践力を育成します。



英語「を」学び、  
英語「で」教える  
スキルを養う

## 教科内容構成コース 英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

社会科授業に必要な、様々な研究・教育を学ぶ

## 教科内容構成コース 社会

社会科（地理歴史科・公民科）授業に必要な、人文科学・社会科学・自然科学及び社会科教育（地理教育・歴史教育・公民教育）の諸領域について、それぞれの専門性を維持しつつ学際性にも十分留意した研究・教育を行います。とりわけ（1）社会認識の地理的多様性を認識しつつその歴史的変遷の軌跡をたどり、（2）社会構造の解明にとりくみ、（3）これら研究成果と教育実践の有機的な関連づけを目指します。2年次から地理学、歴史学、法律学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、宗教学、社会科教育の授業を履修、3年次以降は各専門セミナーに所属、きめの細かい指導をうけ卒業論文を作成します。野外実習である地域調査法（地理学、歴史学）の開講、学内外での学校現場の社会科の先生らと連携した研究・教育活動が活発なことも特徴です。学生たちは小学校免許に加え中学校の社会、高等学校の地理歴史科・公民科の免許も取得し、卒業後、社会科という幅広い教科教育実践得意とする学校教師として活躍しています。

英語「を」学び、  
英語「で」教える  
スキルを養う

## 教科内容構成コース 英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

日本語と、ことばそのもののへの理解を深める

## 教科内容構成コース 国語

私たちは日本語をもついて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きして、また深いものであるよう導く力を養います。

（国語学）では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。（国文学）では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。（書写書道）では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。（国語科教育）では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授

運動を通して、  
子どもたちの  
健康と成長を促す

## 教科内容構成コース 保健体育

『保健体育』は、将来、小学校における体育指導の中心的存在として、あるいは、中学校または高等学校の保健・体育教科を担当できる専門的資質をもった教員の育成を目指しています。

児童・生徒の活発な屋内外の遊びや運動は、運動能力、体力、体格の発達を促し、健康の保持増進に資するとともに、人間的な成長にとって極めて大切な情緒の安定、自己統制力、他者を理解し思いやる心などを育むことと深い関わりがあります。児童・生徒の人間的な成長や発達、人々の健康の保持増進を願う指導者にとって重要な課題は、健康や運動についての正しい理解と適切な方法を修得し、実際の指導に結びつけていくことです。

『保健体育』では、「体操・器械運動」「水泳」「武道」「運動学」「体育心理学」「解剖生理学」「学校保健」「中等保健体育科指導法」「専門セミナー」などの専門科目の学修や研究を通して、学術的な運動の原理、健康の意味、体育の指導について理解を深めることができます。

技術を生かす力  
を持った生徒を  
育てられる教員に

## 教科内容構成コース 技術



『技術』では、生活に役立つ製品の設計・製作、コンピュータやネットワークの基本的構成、プログラミング技術を身につけ、それらを生活や社会に生かせる能力を持った生徒を育てる教員の養成を目指します。この目標のため、『技術』では、技術科教育学、木材加工学、金属加工学、電子・電気工学、機械工学、コンピュータ科学、栽培学（生物育成の技術）の学問領域に関して授業科目を用意しています。さらに、3年次から専門セミナーを受講し、専門的な知識を身に付け、卒業研究に取り組むことで実践力を養っています。

人の生活に  
関わる様々な  
事柄を学ぶ

## 教科内容構成コース 家庭

『家庭』では、生活について自然・社会・人文科学の立場から総合的に学び、社会環境の変化に伴う複合的な生活問題に対応・解決できる専門的な資質・能力をもった持続可能な社会の創り手を育成することを目指しています。

具体的には、家族関係学、生活経営学、保育学、被服学、食物学、家庭科教育学などを学び、専門セミナーでは授業で学んだことを総合化する力をみがくとともに専門的な知識・技能を深め、卒業研究につながるよう各々の課題に取り組みます。

「主体的・対話的で深い学び」が求められる今の教育現場では、その典型ともいえる家庭科の授業を魅力的・学術的に展開できる教員が強く望まれています。また、『家庭』で身につけた確かな学力は、家庭科の授業のみならず、教科横断的授業を進める際にもいかんなく発揮されることでしょう。『家庭』は、人の生活にかかわる様々なことがらや問題に興味と関心をもち、「学びたい」という意欲のある学生にとっては最適な教育・研究の場です。

### 卒業後の教員就職率

80.5%

国立の教員養成大学・学部  
(44大学・学部)の中で

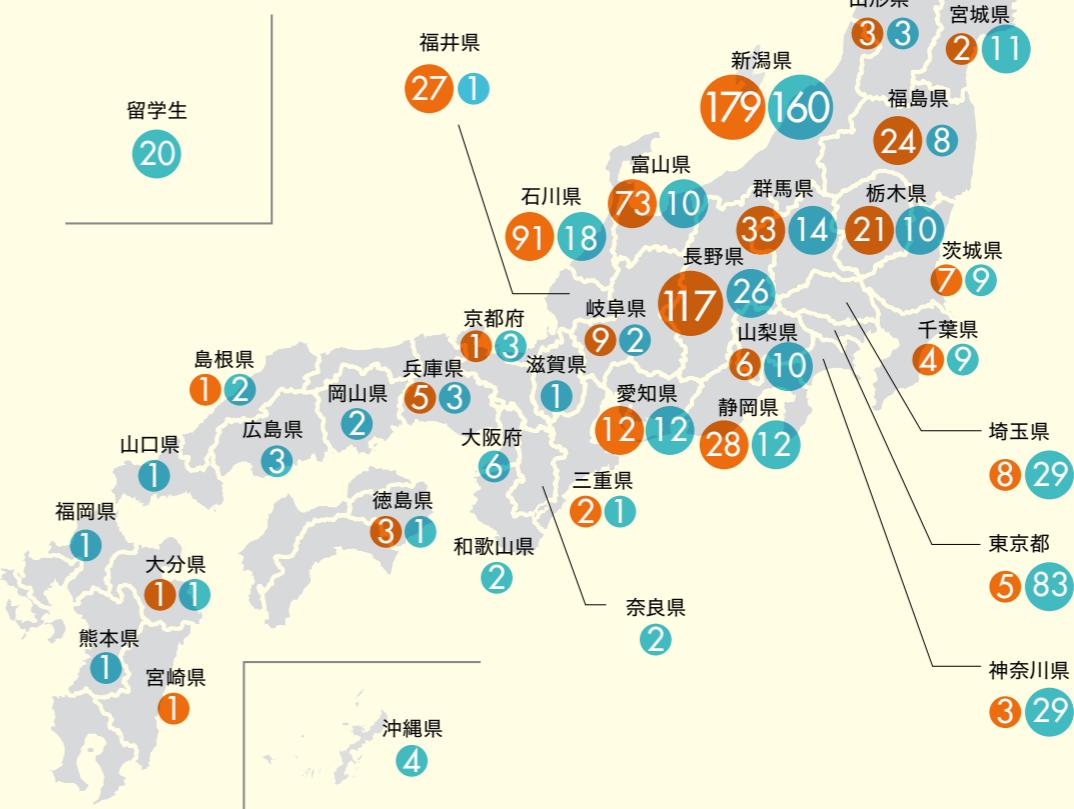
全国 第3位

他、公務員・企業等…大学院への  
進学も! 詳しくは、p.23を参照 →

### 出身都道府県別 在学者数

(令和2年5月1日現在)

学部	大学院	学部合計	大学院合計
1人～	1	677人	
10人～	10		534人
100人～	100		



## カリキュラム（特色のある教育課程）

<b>1 人間教育学関連科目</b> 人間教育学セミナー、実践的人間理解科目、基礎的人間形成科目 教員の原点である人間理解を体験的に深めると同時に、その理解を自然・社会・異文化・生活の各領域の視点から捉えていきます。	<b>2 相互コミュニケーション科目</b> 情報、表現 子どもの学習活動を、言語・芸術・情報などのメディアを通して表現やコミュニケーションから理解し、その具体的な支援の方法を学びます。	<b>3 ブリッジ科目</b> 専門領域に関する高等学校教育との橋渡し、並びに専門教育への橋渡しをします。	<b>4 教育実践科目</b> 各教科の指導法、ガイダンス、教育実習 実践的指導力を向上させるため、教職関連の実習関係科目を重視し、各教科に関する指導法、生徒指導の方法を学びます。
<b>5 教職実践演習科目</b> 教員として必要な知識技能を修得したことを確認します。	<b>6 専門科目</b> 専門科目、専門セミナー、実践セミナー 現代社会の複雑な諸課題に立ち向かうための総合的な問題解決能力、及び教育場面における応用力を養います。	<b>7 卒業研究</b> コース・領域の専門科目に関する修業を集約発展させて、その成果をまとめます。	

## 卒業要件と取得できる免許状・資格

卒業要件の 134 単位を修得することによって、全学生が学士（教育学）の学位を受けるほか、小学校教諭一種免許状を取得できます。（幼年教育コースに所属する学生の場合には、幼稚園教諭一種免許状も合わせて取得できます。）その上に所要の単位を修得することによって、幼稚園教諭の一種又は二種の免許状、もしくは特定教科の中学校教諭の一種又は二種の免許状、さらに高等学校教諭の一種免許状を選択して取得することができます。（ただし、授業時間割の制約上、希望する免許状が取得できないこともあります。）

### 卒業要件に含まれる免許状

小学校教諭一種免許状  
幼稚園教諭一種免許状（幼年教育コース）

### 履修の仕方によって取得可能な免許状

幼稚園教諭一種免許状  
中学校教諭一種免許状（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語）  
高等学校教諭一種免許状（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、情報、英語）

### 履修の仕方によって取得可能な資格

#### 「保育士」

養成定員 20 人の指定保育士養成施設として認可されており、保育実習を含む定められた科目を 73 単位以上修得することで、保育士となる資格が得られます。

保育士資格を取得できる学生は、幼児教育を学ぶ意志があり、かつ、幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する学生で、1 学年 20 人までです。申請者が 20 人を超えた場合は、別途筆記試験を行い選考します。

なお、保育実習に係る交通費は学生の自己負担となります。

#### 「学校図書館司書教諭」

文部科学省令で定められた資格取得に必要な 5 科目 10 単位を開講しています。

#### 「公認心理師」

本学では、公認心理師試験の受験資格取得のため、大学において必要な科目（52 単位）を履修することができます。ただし、一部の科目には履修条件があります。

なお、公認心理師試験の受験には、本学卒業後に、さらに本学大学院などの公認心理師となるために必要な科目が履修できる大学院において科目を履修する必要があります。

### 卒業・免許状要件単位数

区分	学校教育専修							右記以外のコース	
	右記以外のコース					幼年教育コース			
卒業小1	幼2	幼1	中2	中1	高1	卒業小1 幼1	中2	中1	高1
人間教育学関連科目	人間教育学セミナー	2					2		
	実践的人間理解科目	16					16		
	基礎的人間形成科目	22	+6	+12			34		
相互コミュニケーション科目	7						7		
ブリッジ科目	20						20		
専門科目	30						16	+18	+28
教育実践科目	31	+2	+2	+5	+5	+5	33	+5	+5
教職実践演習科目	2						2		
卒業研究	4						4		
合計	134	142	148	157	167	163	134	157	167

(注) 中2・中1・高1は、最大値（ブリッジ科目及び専門科目の取得の仕方によって若干減少する。）

## 副専攻プログラム

### (1) 小学校英語副専攻プログラム

グローバル化の進展を遂げる社会に生きる子どもたちの学習を支えることができる教員の育成を図るために、小学校における外国語活動（中学年）と外国語科（高学年）を担当する上で必要となる基本的知識と技能の修得を目指します。

### (2) 小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム

人工知能（AI）がさらなる飛躍的な進化を遂げる社会に生きる子どもたちの学習を支えることができる教員の育成を図るために、小学校などで活用されるプログラミング領域、情報及び技術などプログラミング言語に関する高度な知識と技能を実践を通して修得することを目指します。

## 6年一貫教育プログラム

6年一貫教育プログラムを置き、大学院学校教育専攻発達支援教育コース（特別支援教育領域）に進学を志望する学業優秀な学部学生に対して、本学大学院教育課程の授業科目（特別支援学校教諭免許状に関わる授業科目（教育実習及び臨床実習を除く。））を履修する機会を提供し、大学院教育との連携を図っています。

なお、今後の教育組織の変更等により進学先である大学院の専攻・コースなどが変更される場合があります。



## 少人数教育のシステムとクラス制度

学生と教員及び学生相互間の人間的交流を深めること、学生生活の充実を図ることなどを目的として、1 年次では学籍番号に基づいたクラス（1 クラス 10 人程度）を、2 年次以降では、コース・領域別にクラスを編成しています。

また、各クラスにはクラス担当教員を置き、学生の修学やその他学生生活全般について適切な指導助言を行っています。少人数による教育を通して、学生と教員とのコミュニケーションが図られています。

## 教育実習の重視

教育実習を1年次から4年次まで体系的に実施しています。1年次の教育実地研究Ⅰ（観察・参加）では、学校種による子どもの発達や教育活動全般の特性を理解します。2年次の教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）では、初等教育実習に出向く前の最終的な確認などを行います。3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）では、教科指導や学級経営、特別活動などの実習を通じて、実践的指導力の基礎を培います。4年次では、教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）や総合インターンシップなどの実習を選択することができます。

教育実習は附属学校園（上越市）のほか、上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市等の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校（計133校園（令和2年4月現在））から連携協力を受けており、学生は本学の指定する学校園で教育実習を行うことになります。

大学所在地から、実習校園までの距離は、指定された学校園毎に様々です。遠方の学校園までは、上越市内で30km、妙高市内で35km、糸魚川市内及び柏崎市内で45kmの距離があり、公共交通機関などを利用していただくことになります。教育実習に係る交通費等及び教育実習のための教科書（教育実習ハンドブック）の購入は学生の自己負担となります。



2年次の教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）の様子



3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の様子

## ボランティア活動の授業化

近年、教育職員免許状を取得する上で、ボランティアへの取組が重視されてきています。本学では、こうした動きに先駆けて、学生の社会教育施設における「ボランティア体験」（1年次）をいち早く授業化しました。

さらに、必修科目として「学校ボランティアA（学校支援体験）」（2年次）を開設し、3年生で行われる「初等教育実習」前に、学校現場でのボランティア活動に取り組むようカリキュラムを編成しています。

また、「初等教育実習」後、さらに学校現場での学びを深めるために実習校等でボランティアを行う「学校ボランティアB（学校支援体験）」（3年次）や4年次や院生が長期にわたって学校現場に入ることで、様々な学級に関わり、学年に応じた指導や取組を学んだり、教職員の子どもへの関わり方を学んだりすることができるようになっています。

こうした教育施設や学校現場へのボランティアを通して、子どもや教職員、教育に携わる地域の方などから学びを深め、教員として求められる社会性や対人関係能力を高めていきます。

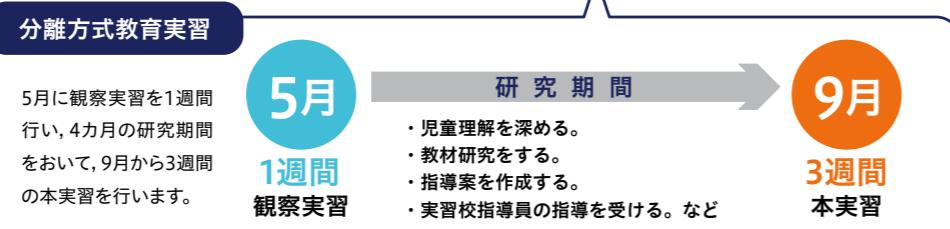


## 学校実習・ボランティア支援室

教育実習、学校実習（大学院）及び学生の各種ボランティア活動を円滑に実施するための支援・危機管理等を行うことを目的として、従来の学校ボランティア支援室を改組・拡充し、平成31年度に設置しました。小中学校をはじめ、たくさんの機関や施設の方とつながりをもち、活動を支援しています。

### 教育実習（教育実地研究）の流れ

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
科目名	教育実地研究Ⅰ (観察・参加)	教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実地研究Ⅲ (初等教育実習)	教育実地研究Ⅳ (中等教育実習)
内容	幼稚園・小学校・ 中学校等を訪問、 教育活動を観察	模擬授業、 発問・板書のしかた 等	小学校教育実習 (5月1週間, 9月3週間)	中学校教育実習（選択）
実習校等	●大学 事前・事後指導 ●附属幼稚園、協力校園	●大学	●大学 事前・事後指導 ●附属小学校、協力校	●大学 事前・事後指導 ●附属中学校、協力校



## 学校実習・ボランティア支援室の役割

### 教育実習・学校実習の支援

教育実習・学校実習の履修・参加学生及び担当教員の支援や実習校との調整等の業務を行います。

### 授業科目として位置づけられた講座を履修する学生の支援

受入団体との連絡調整を図りながら、ボランティア科目を履修する学部生の指導と支援を行います。

- 1年次 ボランティア体験（選択）
- 2年次 学校ボランティアA（必修）
- 3年次 学校ボランティアB（選択）

### 授業科目以外の教育的なボランティアに関する相談とコーディネート

ボランティア募集情報の紹介とボランティアを望む学部生・院生の希望を集約し、コーディネートしています。学校教育実践研究センターの受付システムを利用することで多様な要望に応えていますが、平成29年度からはシステム登録によりボランティア活動を行う学生には保険（学生教育研究災害傷害保険）が適用になりました。

### 社会教育分野におけるボランティア活動の推進

学部1年次の選択科目「ボランティア体験」の受入各事業所では、上級学年のボランティア学生を引き続き求めている場合が多く、双方にとって大きな力になっています。青少年自然の家や各市教育委員会、NPO団体等、社会教育分野におけるボランティア活動を推進しています。

### 被災地ボランティア活動への支援

平成23年度に発足した学生による被災地ボランティア団体ABJへの協力という形で、毎年のボランティアツアーをはじめ、募金活動や講演活動などの支援を行っています。



### その他のボランティア情報の掲示

社会の様々な活動についてのボランティア募集情報を掲示しています。



### 参考図書や教科書などの貸出

特別支援教育やインクルーシブな教育に関する書籍や教材、DVDなどを多数そろえ、貸出を行っています。



## 「海外教育研究」の実施

外国での短期間の生活を通じて、その国の教育の実態及びその背景をなす文化に直接触れさせ、自国とは異なる教育の制度・内容の理解の深化を図り、教育者として必要とされる広い視野や高い識見及び豊かな人間性の育成を目的として、授業科目「海外教育研究」を開設しています。

オーストラリア、アメリカ、韓国、台湾の協定大学などの協力を得て、現地の小学校及び中学校などの授業参観及び授業実践ができるほか、現地学生などとの交流を図ることができます。



海外教育研究 B (アメリカ)

## 海外交流協定校

海外の 8 つの国・地域の 11 大学等と交流協定を締結し、授業科目「海外教育研究」、国際学生プログラム、留学などによる学生交流や、共同研究などによる研究者交流を行っています。



海外教育研究 C (韓国)



## 在学中の保険と相談窓口

### 学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）

この保険は、学生が大学の正課中、学校行事中、課外活動中又は大学施設内において生じた事故及び通学中又は学校施設など相互間の移動中に生じた事故により、身体に傷害を被った場合に保険金が支給される互助共済制度であり、本学では入学と同時に全員が加入（4年間）します。

### その他

(1) 学生証は、I・D カードとして、附属図書館の入館・貸出や証明書・学割証の発行などに使用したり、大学会館内の食堂・売店などの利用料金を各自の口座から自動振替により支払うことに使用できます。

(2) 受動喫煙を防止し、学生及び教職員などの健康を守るため、また、公立学校などにおける敷地内全面禁煙の実施状況を踏まえ、将来教育現場に就職することとなる学生に対し、在学中に喫煙習慣を持たせないための環境を整備するため、キャンパス内全面禁煙としています。

### 学生教育研究賠償責任保険（略称「学研賠」）

この保険は、大学における正課、学校行事、大学が教育活動の一環として位置づけるインターンシップ・介護体験活動・ボランティア活動を行う際に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度であり、本学では入学と同時に全員が加入（4年間）します。

### 学生相談

教員が学生からの相談を受け付ける時間を定めたり、クラス制度を設けて各クラスに担当教員を配置するなど学生相談の充実に努めています。

また、学生からのさまざまな相談に応じたり、仲介したりする「なんでも相談窓口」も学生支援課にあります。



## 納付金と奨学金

### 納付金

大学に納める経費は、次のとおりです。

入学料 282,000 円（入学手続時に納めてください。）

授業料 535,800 円（年額）

前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

代行納付（口座振替）による納付となります。なお、入学料及び授業料の金額は、令和 2 年度入学者の金額であり、今後改定される場合があります。また、在学中に授業料改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。

### 高等教育の修学支援新制度

修学支援新制度では、学部学生のうち、学ぶ意欲のある学生であり、かつ住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の者は、授業料等の減免及び給付型奨学金の給付をセットで受けることができます。

### 入学料の免除など

入学前 1 年以内の学資負担者死亡、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害などの災害を受けたことなどのため入学料の納付が著しく困難であると認められる場合に、願い出により、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

上記の事由のほか、経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合に、願い出により、選考の上、入学料を徴収猶予する制度があります。

### 授業料の免除など

入学前 1 年以内に学資負担者の死亡などのため授業料の納付が著しく困難であると認められる場合に、願い出により、選考の上、全額又は半額の免除及び徴収猶予する制度があります。



### 奨学金（上越教育大学くびきの奨学金）

本学創立 30 周年記念事業において寄せられた寄附金、上越地域住民が会員となっている「上越教育大学振興協力会」からの寄附金及び上越教育大学の同窓会からの寄附金を主な財源に平成 21 年度から創設された本学独自の奨学金（返済不要）であり、対象者は、授業料免除申請者等です。

なお、半期ごとに学内選考を行い、以下の給付額が支給されます。  
学部学生、大学院学生 前期・後期各 80,000 円

### 貸与奨学金（日本学生支援機構）

人物・学業成績とも特に優秀で、経済的理由のため著しく修学困難な者については、所定の手続きを経て奨学金が貸与される制度を利用することができます。

区分	奨学金の種類／貸与月額	
	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子）
自宅通学	20,000 円、 30,000 円、 45,000 円	20,000 円～ 120,000 円 のうち 10,000 円単位
自宅外通学	20,000 円、 30,000 円、 40,000 円、 51,000 円	

## 大学院（専門職学位課程・修士課程及び博士課程）との関連

上越教育大学には、学部のほかに「大学院学校教育研究科（専門職学位課程及び修士課程）」が設置されています。また本学は、兵庫教育大学を基幹大学とした「大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」の構成大学となっています。したがって、学部卒業後さらに高度な専門教育を受けたい学生は、入学試験を経て、大学院専門職学位課程又は修士課程へ、さらには博士課程へと進学することができます。

本学の大学院専門職学位課程及び修士課程は、「教員に開かれた大学院」として現職教員を多数受け入れており、学部学生とも様々な機会を通じて交流があります。こうした交流の中で、より実践的な視点から教育に関する情報交換ができることも、本学の大きな特徴です。

## 大学院学校教育研究科

### 目的

主として、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力と実践的指導力を備えた有為の教育者を養成することを目的としています。

大学院学生の中には、都道府県教育委員会から研修のために派遣された教員や、大学院修学休業制度・自己啓発等休業制度を利用した教員など多くの現職教員が修学しています。

また、教育職員免許状を新たに取得できるプログラムを設けており、社会人や教員養成系以外の学部出身者も多く修学しています。

### 組織図

課程	専攻	コース	入学定員
専門（教職学位） 大学院課程	教育実践高度化専攻	教科教育・学級経営実践コース 先端教科・領域開発研究コース 学習臨床・授業研究コース 現代教育課題研究コース	170 人
修士課程	学校教育専攻	発達支援教育コース 心理臨床コース 学校教育深化コース 国際理解・日本語教育コース 教職キャリア支援コース	130 人
合 計			300 人

### 教育課程

専門職学位課程の教育課程は、教職に求められる高度に専門的な力量の基礎となる学識と教養及び技能を体系的に身に付けるための「共通科目」、深い学識と教養をもとにして学校現場における実践を意味づけ、的確に判断する力量を身に付けるための「コース別選択科目」及び教育現場の状況を的確に把握し、他の人々と協働しながら適切に対応する力量を、学校現場における実践を通して身に付けるための「実習科目」から編成されています。

修士課程の教育課程は、教職に求められる高度に専門的な力量の基礎となる学識と教養及び技能を体系的に身に付けるための「共通科目」、現代の教育課題と学際研究の進展に対応した高度な専門性を形成するために、各専門領域にわたる専門科目及び学校教育に関する広範な専門分野における方法論と教育実践学へのアプローチに関する方法論並びに各自の研究テーマを具体化する専門セミナーで構成する「専攻科目」、他の人々と協働しながら適切に対応する力量を、学校現場や企業などにおける実践を通して身に付けるための「実習科目」から編成されています。

### 修了要件

専門職学位課程の修了要件は、大学院に 2 年以上（1 年制プログラムの場合は 1 年）在学し、46 単位以上を修得し、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める専修免許状又は一種免許状取得に係る所要の単位を修得することです。

修士課程の修了要件は、大学院に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、さらに必要な研究指導を受けた上、学位（修士）論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することです。

### 学位及び教員免許状

専門職学位課程の修了者には、教職修士（専門職）の学位が、修士課程の修了者には、修士（教育学）の学位が授与されます。教員の一種免許状を有している学生は、所定の単位を修得することで、専修免許状が取得できます。

# 就職・進路

文部科学省が調査した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の平成31年3月卒業者の就職状況等」において、本学の教員就職率80.5%（卒業者数から大学院進学者と保育士就職者を除く）は、全国の44大学・学部の中で、第3位でした。

## プレイスメントプラザ

プレイスメントプラザ（P プラ）は、就職・進路に関する相談や就職に関する各種資料を自由に閲覧でき、自学自習、学生同士の情報交換の場としても利用されています。教員採用関係では、全国の公立学校教員採用試験に対応できるよう国内すべての自治体の実施要項及び過去の試験問題集、先輩の受験レポートなどを揃えています。また、公務員・保育士関係では、求人票のほか、参考書、過去問題集などの各種資料を揃えています。

教員採用試験学習支援システムは、インターネット上で利用することができ、教員採用試験関連資料、幼稚園教諭・保育士の求人関連資料の提供、教員採用試験対策講座の動画配信などのサービスを提供しています。



## キャリアコーディネーター

P プラには、就職・進路相談や就職指導を担当するキャリアコーディネーター（公立学校の校長職経験者）がいます。経験豊かな学校教員の立場から、論作文・自己PR文の添削指導や模擬面接（個人・集団面接、集団討論など）の指導など、学生一人ひとりに合わせた個別指導により就職試験対策をサポートします。



## 就職支援プログラム

### 教員採用試験対策講座

民間のノウハウを活用し、教採にのぞむための心構え、学習方法から、教職教養、一般教養などの筆記試験対策まで、段階に応じた対策講座を開講しています。

### 直前実技指導

教員採用試験で課されている実技検査対策として、体育分野の各種目、音楽実技、理科実験について教員採用試験の直前指導を行っています。

### 模擬面接指導

面接試験は受験者の言動及び態度を通じて、直接的に知識、性格特性、適格性、価値観、人生観などを総合的に評価するものです。キャリアコーディネーターの指導を繰り返し受けることにより、試験を突破する実力が身につきます。

### 就職試験激励会

就職試験を受験する学生に対して受験の健闘を願い、受験に向けた準備をねぎらう大学主催の激励会を毎年実施しています。

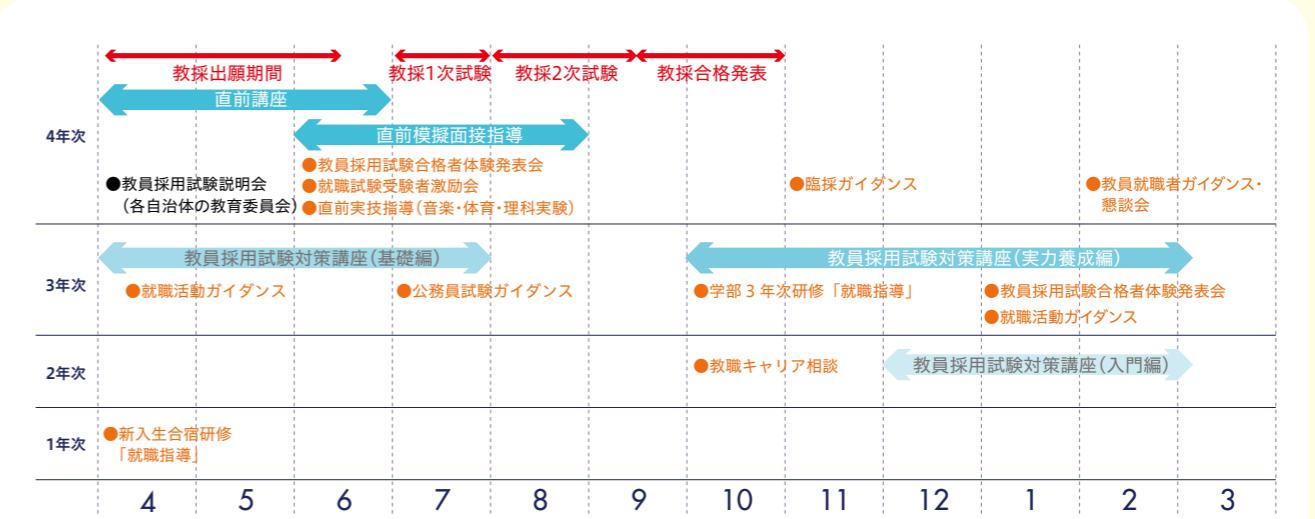


## 教員採用試験対策講座プログラム

教員志望の学生向けに、2年次から4年次の教員採用試験直前まで続く「教員採用試験対策講座プログラム」を開講しています。

教員採用試験問題に詳しい専門の講師の指導により、試験対策の必須事項や学習法を学び、教採試験合格を目指します。

また、4年次の5～6月には、大学教員による直前実技指導やキャリアコーディネーターによる直前模擬面接指導など個々の学生の志望に応じた支援を行っています。



## 就職状況

### 平成31年3月卒業生の就職状況

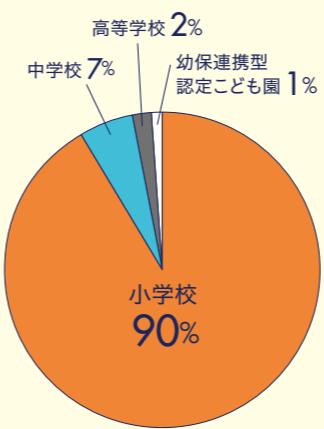
令和元年9月30日現在（単位：人）

区分	教員就職者							保育士	官公庁企業等	進学者	その他	合計	教員就職率 (※)
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園	幼保連携型認定こども園	計						
初等教育教員養成課程	97 (15)	7 (4)	2	—	—	1	107 (19)	8 (2)	25	22	1	163 (21)	80.5%

「教員就職者」の（）内の数は、期限付き教員として採用された人数で内数です。「官公庁企業等」欄には臨時採用者を含みます。

※ 教員就職率は、卒業者数から進学者と保育士就職者を除いた数を母数とした教員就職者の割合を示します。

### 【教員就職者の内訳】



### 【都道府県別教員就職状況】

校種	新潟	長野	石川	群馬	富山	愛知	宮城	山形	福島	栃木	東京	岐阜	茨城	千葉	福井	山梨	静岡	鳥取	愛媛	沖縄	合計
小学校	37	16	9	6	7	3	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	97
中学校	1			4	1	1	1														7
高等学校				2																	2
幼稚園等							1														1
合計	38	16	11	10	8	4	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	107

# 学びのひろば

## 学びのひろばとは

「学びのひろば」は、平成10年度に上越教育大学フレンドシップ事業の一環として始まりました。

現在は、近隣の小学校に通う子どもたちを年に5～6回大学や国立妙高青少年自然の家へ招き、レクリエーションや野外活動、工作、運動などの活動を行っています。その中で子どもたちが仲間とともに学ぶことの楽しさを感じ、新しい発見と挑戦の場として主体的に取り組んでいくことを目標としています。

その企画・運営は、大学の教職員の支援を受け、全て学生を中心となり行っています。計画していく過程では学生同士が子どもたちとの関わり方や環境づくりについてよく話し合い、活動当日は直接子どもとふれあうなかで実践力を高めています。



## 参加している先輩たち

小さい子から高学年までそれぞれ個性の違った子どもたちが集まりますが、皆可愛いですね。参加しているクラブの検討書を作る際、子どもの危機管理や、活動を通して自分がどういう力を養いたいかななど、あいまいな部分を残さない内容を考え、責任を持って子どもたちを預かる経験ができたことはとても貴重でした。

ホームページで知っていたので、入学してすぐに入りました。お昼休みに「昼学び」という時間があって、みんなで集まって企画を考えたり準備をしたり、前日ももちろん準備があるので大変ですが、子どもたちと運動したり工作したりして実際に関わることで、授業では得られない経験が出来ると思います。



2年 教科内容構成コース(保健体育)  
磯 天成さん



グループごとに作ったお城づくりの様子

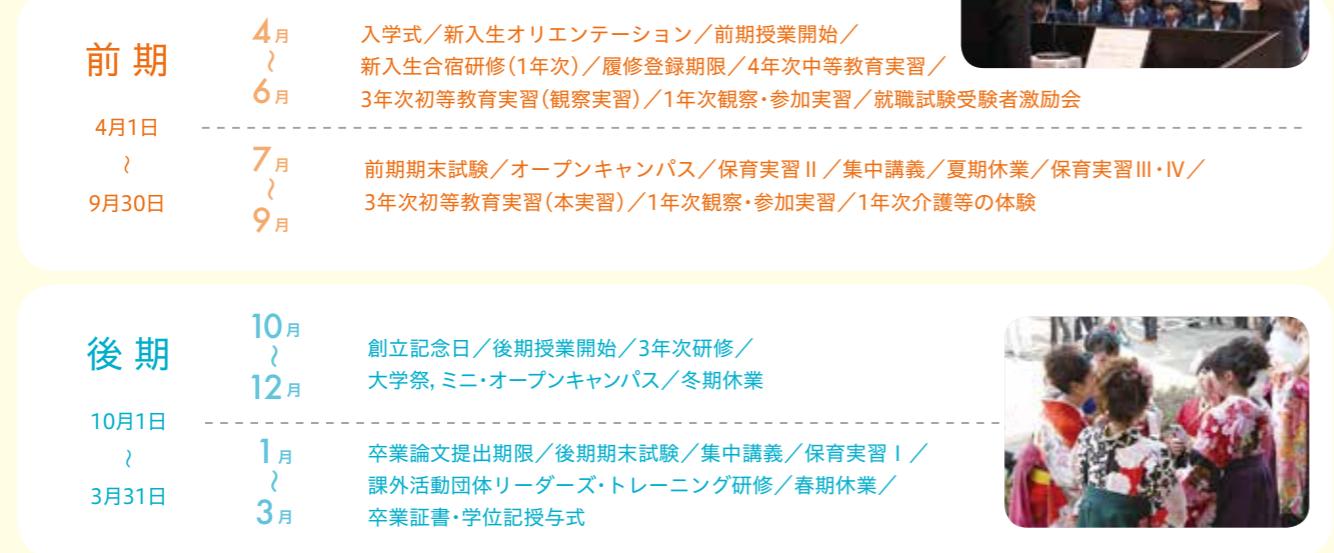


緑の小道での宝探しの様子



# Campus Life

## キャンパスカレンダー



## 上教大生の1日



## 課外活動

学生の人間形成の場として正課外の課外活動を重視しており、課外活動に対する支援・充実を積極的に図っています。課外活動団体として認定を受けた学生団体には、活発な活動が行えるよう、設備、備品などの利用について便宜が与えられ、本学の名称を冠して対外試合などにも参加することができます。

学部学生の約9割が課外活動団体に所属し、うち約5割の学生は複数の団体に所属しています。

課外活動に参加することにより様々な経験をし、様々な人たちと出会い、そのでかけがえのない仲間や、将来を考えるきっかけに出会えるなど、より充実した学生生活を送っています。

### 体育系

- ソフトテニス部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 準硬式野球部
- 卓球部
- 剣道部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- サッカー部
- 弓道部
- スキー部
- バドミントン部
- ソフトボール部
- 硬式テニス部
- ハンドボール部
- 女子サッカー部
- ラグビー部
- アイスホッケー部
- 女子アイスホッケー部
- ストリートダンス部
- セパタクローネ部
- 男子ソフトボール部
- 体操部
- フラガール
- フットサル部



### 文化系

- 書道部
- 坐禅・不識会
- 上越アクティビティクリエイターズ (JAC)
- 茶道部
- すべしゃるさんくす
- 手話研究会しゅわーる
- 多文化交流サークル(まるかる)
- 被災地ボランティア団体(ABJ)
- 食育サークル Heart
- 子ども食堂スタッフサークル
- ボードゲームサークルLogica
- モダン・ミュージック・ソサイエティ (MMS)
- 吹奏楽団
- 管弦楽団
- 混声合唱団
- アートワーク
- アカペラサークル(JADE)
- ヨリ・ミチ図工室



計45団体

令和2年5月1日現在

### 芸術系



# Campus Map



- ①本部事務局
- ②講堂
- ③大学会館
  - 1F 第一食堂／売店／保健管理センター／銀行ATM(第四銀行, ゆうちょ銀行)
  - 2F 第二食堂／喫茶室／美容室／理容室／POTATO(ポテト)／集会室
- ④附属図書館
  - 1F 閲覧室／ホール
  - 2F 入口・受付カウンター／閲覧室／学術情報課
  - 3F 閲覧室
- ⑤講義棟
  - キャンパスライフスクエア／教育支援課／学校実習課／学生支援課／プレイスメントプラザ
- ⑥教職大学院棟
- ⑦実験棟
- ⑧自然棟
- ⑨情報メディア教育支援センター
- ⑩第二講義棟
- ⑪人文棟(低層)
- 教育実習支援室／学校実習・ボランティア支援室
- ⑫人文棟
  - 留学生交流プラザ
- ⑬音楽(研究)棟
- ⑭音楽(個人練習室)棟
- ⑮美術(研究)棟
- ⑯美術(実習)棟
- ⑰体育棟
- ⑱小体育馆
- 柔・剣道場／ダンス室／トレーニング室
- ⑲体育館
- ⑳スポーツ科学実験棟
- ㉑臨床研究棟
- ㉒心理教育相談センター
- ㉓特別支援教育実践研究センター



## 附属施設



### 心理教育相談センター ㉒

心理教育相談センターは、広く子どもから大人までの“こころ”や“行動”に解決困難な問題を抱えた方々へ専門的な心理的援助を提供したり、学校やその他の機関に専門的なサービスを提供することをもって地域社会の福祉増進に寄与するとともに、公認心理師及び日本臨床心理士資格認定協会の第一種指定大学院の臨床心理士養成のための実習施設として、心理臨床コースの大学院生である相談研修生に心理療法や教育相談などに関する研修を行い、心理臨床における教育と研究の推進に寄与することを目的として設置されています。

この相談センターでは、いじめ、不登校、発達障害、非行、虐待、自殺、犯罪被害や震災被害など、児童生徒のさまざまな問題の解決を図る学校臨床をはじめ、医療、福祉、産業分野などにおけるよりよい臨床サービスの提供、並びにそのための高度な研修と研究を日々行っています。



### 特別支援教育実践研究センター ㉓

特別支援教育実践研究センターは、特別支援教育に関わる教育臨床や教材開発を通して、高度な実践的指導力をもつ特別支援教育の教員養成を図るとともに、教育相談や指導者研修により、地域の教育・福祉に資することを目的として設置されています。センターでは、大学院生が特別な教育的ニーズのある子どもへの臨床経験を積み重ね、学部や教育現場で培った指導力の向上と特別支援教育の専門性の習得を目指した教育研究活動を行っています。また、公開セミナーや実践研究發表会も開催しています。



### 保健管理センター ③

保健管理センターは、学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図ることを目的として設置されています。このセンターでは、毎年定期健診などを実施するほか、専門の職員が学生及び職員の心身の健康状況を把握し、必要に応じて指導と助言を行っています。また、カウンセラーによる精神保健相談を行っています。

### 体育施設の利用について

本学では、授業はもちろん、課外活動などで使用できる施設を多様に整備しています。

授業などに支障が無いかぎり事前の許可を得て、使用することができます。

- 陸上競技場 ●サッカー・ラグビー場
- 野球場・ソフトボール場 ●プール
- テニスコート（オムニコート、クレイコート）
- 体育館 ●トレーニング室 ●柔・剣道場
- ダンス室 ●トレーニングルーム

## 大学会館

大学会館は快適な学生生活のために欠かせない場所です。食事をしたり売店で買い物をするのはもちろんですが、理容室、美容室、第四銀行・ゆうちょ銀行の現金自動預払機（ATM）、郵便ポスト、各種自動販売機などがあります。施設内での買い物、食事、喫茶は学生証を使いキャッシュレスでも利用できます。

また、大学生協ではない地元の業者が主体で運営していて、地元スタッフによる温かいサービスが受けられるのが魅力です。



### 売店

売店（上越教育大学サービスセンター）は、食料品、日用品、文房具、書籍などの販売からクリーニング、宅配便の受付もしてくれます。授業で使用する教科書や専門書なども揃っています。

また、大学のイメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」のグッズや大学のロゴマークの入ったオリジナルパッケージで上越のお米や味噌などを販売しています。お土産に購入してみてはいかがでしょうか。

### ATM & 自販機

第四銀行、ゆうちょ銀行のATMと郵便ポストがあります。また、自動販売機もあり、災害時には緊急飲料として提供されます。附属図書館、体育館、人文棟、キャンパスライフスクエアにも同様の自動販売機が設置されています。



1F

### 第一食堂（320席）

320席の大きな食堂が第一食堂です。朝、昼、夕と営業していて学生はもちろん、教職員も利用しています。カレーや丼物などのボリューム満点のものや、ラーメン、そばなどの麺類、魚やサラダなど安心・安全で健康面に配慮した豊富なメニューを提供しています。



アラカルトメニューの他、ベーカリーも提供しています。



### 第二食堂（28席）

第一食堂とは違った雰囲気で、ゆっくり静かに食事をしたい時に利用してはいかがでしょうか。フリードリンク付きで値段もお手頃です。

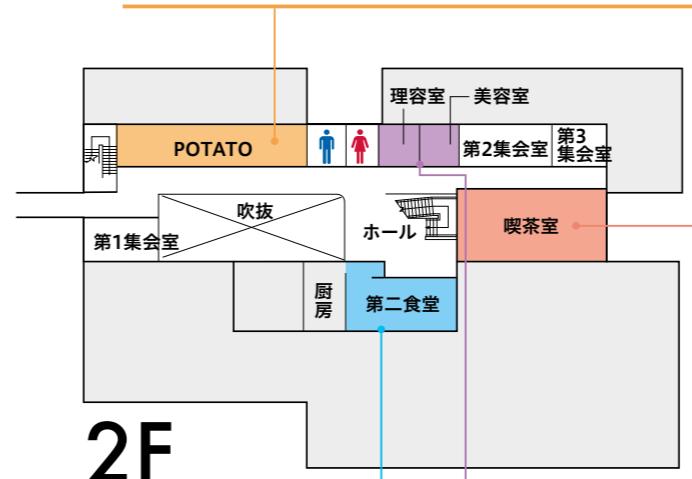


友だちと課題をしたり、学びのひろばの準備や、部活（軽音）で使う舞台装飾を作る事もあります。夜遅くまであいているので便利です。（森田さん）



### POTATO（談話室 20席～）

談話室として、いつでも自由に利用することができます。気の合う仲間と学生生活を語り合えるのでは？



### 喫茶室（38席）

喫茶室「ELM カフェ」は、バラエティに富んだフードメニュー やホット一息つけるカフェメニューをご用意、「笑顔になれる 喫茶室」です。

喫茶室と美容室をよく利用しています。近いし、学生証があればキャッシュレスで払えるのも便利です。（渡邊さん）



### 理容室＆美容室

理容室と美容室は予約をして授業の合間など都合の良い時間に利用することができるのでも便利です。



## 附属図書館

約 36 万冊の図書、4,600 種余の雑誌のほか、DVD・CD などの視聴覚資料、各種データベース、電子ジャーナル約 7,800 タイトルなどが利用できます。

小学校・中学校のすべての教科書があり、教育実習前後の授業研究などに役立っています。また、過去の教科書もあり、現在の教科書との比較研究にも利用されるなど、「ぜったい先生になりたい」学生のための本を揃えています。

お盆と年末年始などを除き、土・日・祝日も開館していて、学生・教職員のほか、卒業生や地域の方々も利用しています。

### 開館時間

	平日	土・日・祝日
授業期間	9 時～22 時	11 時～17 時
休業期間（春・夏）	9 時～17 時	11 時～17 時
休業期間（冬）	9 時～17 時	休 館



### 各フロアの紹介

3階建てで、入り口ゲートは2階です。

1階と3階は個人で静かに学習するための場所、2階は全体が広々とした学習スペースです。プロジェクタ、電子黒板、ホワイトボード、書画カメラなどがあり、全館に無線 LAN を整備し、多様な学習をサポートしています。



## 学校教育実践研究センター



学校教育実践研究センターは、学校及び地域社会と連携しながら、学校教育の実践に関する諸課題を把握し、大学教員、現職教員、学生及びその他の関係者と共同して、当該課題に関する臨床的・実践的・開発的研究を推進することによって、学校教育の改善、充実及び発展に寄与することを目的としています。

そのため、大学と地域の学校や教育機関を結ぶインターフェースとしての役割を担い、以下の事業に取り組んでいます。

### 1. 教育実習の推進

教育実習関連の委員会と連携・協力して、分離方式の初等教育実習をはじめとする各種教育実習の円滑な運営・実施と履修学生の指導に取り組んでいます。

### 2. 臨床的、実践的、開発的研究の推進

学校現場の教育課題に基づいた実践的なプロジェクトやシンポジウムを実施するとともに、学校教育に関する理論的・実践的知識を蓄積すべく、教育実践研究を編集・発行しています。

また、内閣官房拉致問題対策本部事務局からの依頼を受け、拉致問題に関する教育等研修に取り組んでいます。

### 3. 学校及び地域社会との連携・支援

教育委員会や教職員のニーズを踏まえ、教職員のための自主セミナー、新潟県立教育センターや地域の教育委員会との連携研修を企画・運営するとともに、学校評価支援アンケートシステムを開発・運用しています。

## 国際交流推進センター

国際交流推進センターは、国際的な学生交流及び学術交流の推進並びに教育研究の充実を図るとともに、学校及び地域社会との連携により、国際的視野を持った人材を養成することを目的として設置されています。

## 赤倉野外活動施設

赤倉野外活動施設は、大学から車で約 45 分（約 30km）。周辺は妙高戸隠連山国立公園にあたり、妙高山を中心に広がる雄大な自然に囲まれ、四季おりおりの良さが楽しめます。澄んだ空気と豊かな自然環境でキャンプ、スキーなどを楽しんでみてはいかがでしょうか。施設は、赤倉温泉スキー場や赤倉温泉街に徒歩でも行ける立地にあり、赤倉温泉の源泉を引いているため、温泉風呂も楽しめます。宿泊料は、1 泊 1,000 円（食事代別）で、学生、職員であればだれでも利用可能な宿泊施設です。



## 情報メディア教育支援センター

情報メディア教育支援センターは、本学の情報システム及び情報ネットワークの管理・運用をとおして、学生・教職員の ICT 活用を図り、また、情報教育を総合的に推進することを目的としています。具体的には、①講義室、食堂などの共用スペースには無線 LAN アクセスポートを、その他研究室などにはネットワークコンセントを設置するなど学内のさまざまな場所において、常時インターネットに接続できる学内 LAN【JUEN (Joetsu University of Education, Network)】を整備・運用しています。②教育・研究を支援するための各種情報処理関連室を整備し、授業での利用はもとより、学生の所有する PC を用いて自主学習が可能な環境を整えています。

その他にも、講義支援や業務支援などのサービスが提供できる各種システムを導入すると共に、メールシステムとして、本学独自のドメインにより、全学生に e-mail アドレスを配付しており、その活用環境の整備と運用を図るなど教育・研究の支援を行っています。

なお、本センターでは、入学時に JUEN の利用方法や情報セキュリティに関する講習会を開催しているほか、ヘルプデスクを常設して端末機器のトラブルや質問に対応しています。



▲情報セキュリティ講演会

## 附属学校

学校教育に関する実践的な研究や学生の教育実習を行うため、附属幼稚園、附属小学校及び附属中学校が設置されています。

附属幼稚園は、幼児の豊かな体験を大切にした保育を推進するとともに、これからの新しい時代を自らの力で生き抜く子どもを育む、新しい教育課程づくりに取り組んでいます。

附属小学校では、全国に先駆けて総合学習にかかる研究に取組み、長年にわたる研究活動の成果は全国の学校で活かされています。

附属中学校は、ICT を用いた先進的な取組によりアップル社の「Apple Distinguished School 2019-2022」に認定されました。生徒に一人1台の iPad を活用することで、生徒の創造性を刺激し、多様なコミュニケーションと表現を生み出す教育活動に挑戦し、その成果を発信し続けています。



▲附属幼稚園



▲附属小学校



▲附属中学校

## 学生宿舎

学生に勉学と生活に適した環境を提供し、自律的な共同生活を通じて自主性・協調性のある人間形成を図るため、山屋敷地区のキャンパス内の縁に囲まれた一画に学生宿舎を設置しています。

### 単身用学生宿舎（男子棟・女子棟）

各居室には、机、椅子、ベッド及び内線電話（無料）等が備えています。（室内に水道・ガス設備はありません。）

希望により外線電話（有料）及びインターネット（有料）も利用できます。

また、各階には、補食室、洗面・洗濯室及びトイレがあり、浴室は男女各2室あります。このほか、安全管理のため学生証を各玄関のカードリーダーにかざして入館します。

名称	収容人員等	寄宿料（月額）	諸経費（月額）
単身用学生宿舎（5階建12棟）	630人 (男子300人 女子330人)	I型 (個室) 4,300円  II型 (個室) 7,700円	○共益費 2,000円  ○私生活のために使用する光熱水料 夏期 約5,000円 冬期 約9,000円

※共益費は改定される場合があります。



### 建物玄関

防犯用に「カードロックシステム」を設置。  
入館の際、学生証をカードリーダーにかざして入ります。



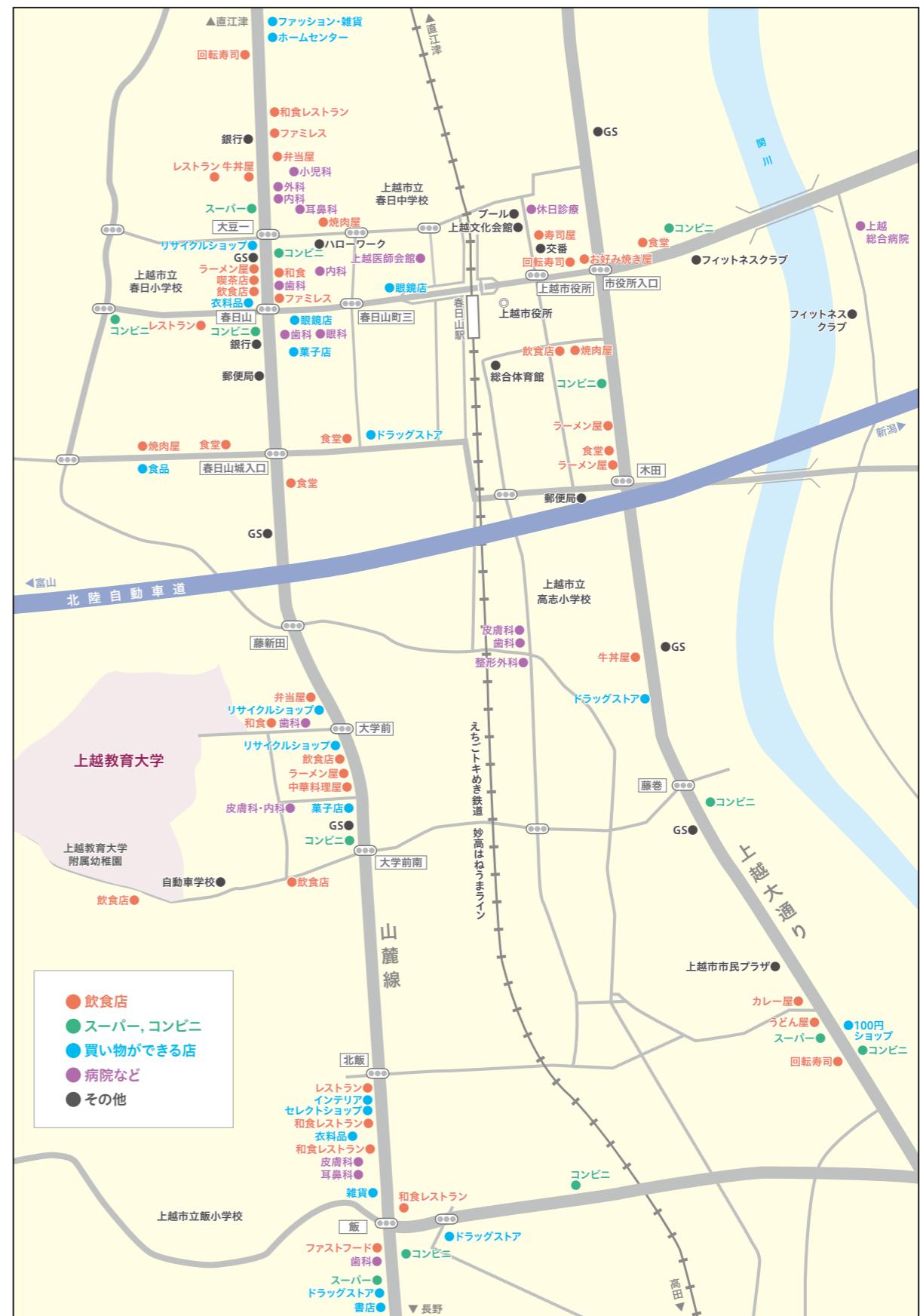
補食室(共用、各階1ヶ所)  
コイン式ガスコンロ・瞬間湯沸器

洗面・洗濯室(共用、各階1ヶ所)  
コイン式洗濯機・乾燥機

浴室(共用、男・女各2ヶ所)

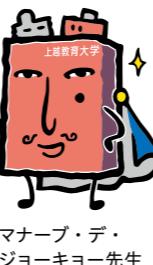
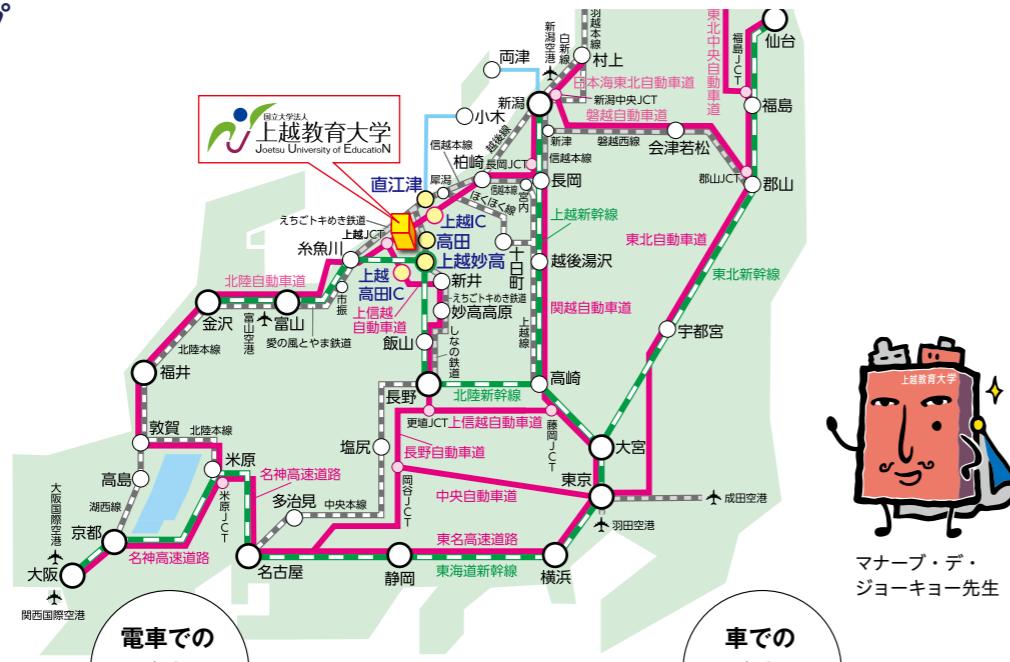
## キャンパス周辺

近隣には飲食店やコンビニ、病院もあるので安心です。



# 本学へのアクセスとキャンパス周辺について

## 広域マップ



車での  
アクセス



## キャンパス周辺マップ



## 学びの場は、多くの歴史と文化が薫るまち

上越市は、新潟県南西部の日本海に面して位置し、市の中央部には、関川、保倉川などが流れ、この流域に高田平野が広がっています。この広大な平野を取り囲むように、米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっています。

海岸線には砂浜や天然の湖沼群が点在し、多様な自然を有する海・山・大地に恵まれた自然豊かな地域です。

古くから日本海側の交通の要衝として栄えましたが、現在も重要港湾である直江津港、北陸自動車道と上信越自動車道、JR信越本線、ほくほく線に加え、2015年（平成27年）から北陸新幹線とえちごトキめき鉄道が開業するなど、陸・海の広域交通の結節点としての拠点性は一層高まっており、上越魚沼地域振興快速道路などのプロジェクトも進行しています。



## 本学に関するお問合せ先

入試	入試課	025-521-3294	nyushi@juen.ac.jp
カリキュラム・免許状	教育支援課	025-521-3275, 3278	kyosien@juen.ac.jp
教育実習	学校実習課	025-521-3277	zissyuu@juen.ac.jp
学生生活全般	学生支援課	025-521-3283	gkikaku@juen.ac.jp
奨学金、入学料・授業料免除	学生支援課	025-521-3286	syogaku@juen.ac.jp
学生宿舎	学生支援課	025-521-3287	syukusya@juen.ac.jp
就職・進路	プレイスメントプラザ	025-521-3597	recruit@juen.ac.jp
オープンキャンパス、その他	広報課	025-521-3626	nyushik@juen.ac.jp

WEB OPEN CAMPUS 2020  
上越教育大学  
WEB オープンキャンパス  
8/1 sat START  
くわしくはコチラから→

ぜったい  
先生になりたい人  
集まれ!